

神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 第2回ワーキング
議 事 概 要

事項	神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 第2回ワーキング 議事概要	出席者	20名 (随行者・事務局除く)
日時	平成26年12月16日(火) 14:00~15:40	場所	兵庫県私学会館 302・303会議室
内容	<p>1 開会 (1) 開会あいさつ (2) 出席者紹介</p> <p>2 議事 (1) 第1回協議会の主な意見と対応について (2) 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画(原案) (3) モデル地区及び「そなえる」対策の取り組み事例紹介</p> <p>3 その他(連絡事項)</p> <p>4 閉会</p>		
資料	<p>議事次第、出席者名簿、配席図</p> <p>【資料1】 第1回神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 議事概要</p> <p>【資料2】 第1回協議会の主な意見と対応について</p> <p>【資料3】 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画(概要版)</p> <p>【資料4】 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画(原案)</p> <p>【資料5】 「ためる」「そなえる」対策 説明資料</p> <p>【資料6】 モデル地区及び「そなえる」対策の取組み事例紹介 説明資料</p>		

1 開会

神戸土木事務所より開会のあいさつを行った。

2 議事

(1) 第1回協議会の主な意見と対応について

事務局は、【資料2】【資料4】により「第1回協議会の主な意見と対応について」の説明を行った。

主な意見

(県民構成員) 災害に対しては避難が大事。小中学校で防災教育を行うべき。要支援者を含め、避難所を近隣に知らせる必要があり、自治会も応援する。ところで山麓に家を建てるには許可があるのか。

(座長) 特別警戒区域には家は建てにくくなっている。これから指定していく。

(県民構成員) 自分の家は自分で守る。国や県に任せず、自己責任を確立させるべき。

(座長) 急傾斜地崩壊対策事業で補強などを行っているが、全てできないので公共性の高いものから優先順位をつけてやっている。

(県民構成員) 土石流が危ない。山が経年変化で劣化している。

(県民構成員) 山田川の上流で開発が進んでいる。調整池は適切に整備されているのか。

(座長) 調整池の設置状況については調べて報告する。

(2) 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画(原案)

事務局は、【資料5】により「神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画(原案)」の説明を行った。

主な意見

(県民構成員) 新湊川に貯留施設を設置するのか。天王トンネルの所に窪地があるので使えるのではないか。

(座長) 新湊川では河川に隣接する調節池は必要ない。内水被害を減らす対策を中村住宅や兵庫区役所など、地域にある施設を活用したいと考えている。

(3) モデル地区及び「そなえる」対策の取り組み事例紹介

事務局は、【資料6】により「モデル地区及び「そなえる」対策の取り組み事例紹介」の説明を行った。

主な意見

(県民構成員) 昼間は地域に健常者がおらず、中学生が頼りになる。今回行った防災訓練では中学生を指導し、全てやらせた。吹奏楽部は消防隊と一緒に演奏することで練習に熱が入り、また保護者たちが見に来てくれた。毎年続けて行いたい。50人いる小学生の1割が地域で育ち、防災リーダーになって欲しい。保護者たちは吹奏楽が終わったら帰ってしまい、防災意識に乏しい。

(県民構成員) 小学生の親はPTAに参加するが、中学生になると来なくなる。

(県民構成員) 4地域合同で訓練を行った。父兄と一緒に中学生80人、小学生50人、全部で350人集まった。学校との連携の仕方次第で、協力してくれる。

(県民構成員) 神戸で最初に防災ジュニアチームを作った。毎月1回訓練をしている。360人の卒業生がおり、防災活動で有名な舞子高校に入学したなど報告に来る子もいる。阪神淡路大震災で父と妹を同時になくした子が、この訓練をやっていたら妹だけでも助けられたと言っていた。

(座長) 各防災コミュニティで行っている訓練手法を紹介して、他地域に広めたい。手づくりハザードマップについては、どんな取組を行っているか。

(県民構成員) 小学生が中心となり、危険箇所を記した手づくりハザードマップを作成している。

(県民構成員) 小学校にお願いに行ってもスケジュールに余裕がなく、学校の協力が得られない。

(県民構成員) 登下校の見回り、清掃などを含めた事業計画を、地域で組み立て学校に提出する。父兄から地域にありがとうと言ってもらえる取組を(私の地域では)行っている。事業計画には「学校との協働が不可欠」と記述すれば良い。

(県民構成員) 長田区では児童館単位で防犯の手づくりハザードマップを作成している。長田南部は海が近く、早く流す対策を考える方が良いのではないかと。

(座長) 上流にある県立施設での貯留を考えていきたい。

(県民構成員) 下水があふれると臭気が問題。スムーズに水を「ながす」方法を考えて欲しい。有馬街道の水が天王谷川に流れてくると怖い。

(県民構成員) 住吉川は安心しているが、山が心配。10kmのうち下流は3kmで7割が急傾斜地である。平成10年に市の条例によって、市や住民の役割を定める制度が設けられ、小学校区毎に

防災福祉コミュニティが組織された。防災活動には被害の大きかった地区は熱心な人が多かった。今ではメンバーが固定しがちで参加者が限られてきている。津波の時に南の地区（魚崎）の人が避難してくれば我々は受け入れる。山崩れは逆。訓練していなくても阪神淡路大震災の時はみんなで助け合ったように、防災活動の根底は近隣の住民同士の助け合いにつなげることを重要としている。

（県民構成員）山が崩れなければ、川があふれることはない。山を守って欲しい。

（座長）原案はもう少し内容の精査・充実が必要なところもあるが、本日いただいた意見は概ね盛り込んでおり、原案として作業を進めてよいか。

（全員）異議無し。

4 その他（連絡事項）

（事務局）来年1月27日に第2回協議会を開催する。

5 閉会

神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 第2回ワーキング出席者一覧

(順不同、敬称略)

属性	委員氏名	主な役職	出欠	代理人氏名	代理人役職
兵庫県 神戸 県民センター	樋口 俊光	神戸土木事務所 企画調整担当 所長補佐	出席		
	前田 優夫	神戸土木事務所 副所長	出席		
	田村 健	神戸土木事務所 河川課長	出席		
	河野 豊	県民交流室 室次長兼企画防災課長	欠席	細野 泰	県民交流室企画防災課 課長補佐
神戸市	原 正太郎	建設局下水道河川部 河川課長	出席		
	吉本 幸宏	建設局下水道河川部 保全企画担当課長	出席		
	三木 敦史	危機管理室 計画担当課長	出席		
	中森 秀	東灘区役所 総務課長	欠席		
	三谷 忠弘	灘区役所 総務課長	出席		
	小松 信彦	中央区役所 総務課長	代理出席	吉岡 一夫	調査係長
	雲丹亀 章	兵庫区役所 総務課長	出席		
	伊藤 雄祐	長田区役所 総務課長	出席		
	小林 史明	須磨区役所 総務課長	出席		
	岩見 賢治	垂水区役所 総務課長	出席		
県民	渡辺 利信	(東灘区) 住吉川清流の会会長	出席		
	大森 末広	(灘区) 河原自治会長ほか	出席		
	後藤 實	(中央区) 生田自治連合会長ほか	出席		
	中井 末治	(兵庫区) 菊水地区防災福祉コミュニティ委員長ほか	出席		
	渡邊 攝子	(兵庫区) 湊山地区防災福祉コミュニティ委員長ほか	出席		
	岸本 圭吉	(長田区) 番町地区防災福祉コミュニティ本部長	出席		
	佐々木 利雄	(須磨区) 大黒地区防災福祉コミュニティ本部長	出席		
	岡松 治利	(垂水区) 垂水区自治会連絡協議会会長	出席		

議事録確定署名人

座長:神戸土木事務所 所長補佐(企画調整担当)

神戸土木事務所 副所長
